

ひたちなか市教育委員会会議録

令和6年 第11回 ひたちなか市教育委員会 9月定例会 会議録					
令和6年9月24日(火)		開会 午前10時30分		閉会 午前11時10分	
○場 所	市役所第3分庁舎 防災会議室1				
○出席委員	教育長 秋本 光徳	委 員 佐藤 達	委 員 岡本 修	委 員 鬼澤 宏幸	委 員 大塚 佳代子
○欠席委員					
○会議に出席した事務局職員	補 職 名				氏名
	教育部長				箱崎 勝子
	総務課長				田口 清幸
	学校管理課長				橘 和典
	保健給食課長				金澤 幸浩
	参事兼指導課長				飯村 祐一
	青少年課長				植野 健一
	中央図書館長				大和田 千鶴子
	総務課課長補佐兼係長				菊池 徳
	総務課主事				山崎 佑太
その他	その他(1)	新中央図書館設計業務契約予定者の決定について【公開】			

令和6年第11回ひたちなか市
教育委員会9月定例会会議録

開会 10:30

教 育 長 (あいさつ, 開会の宣言)

その他(1) 新中央図書館設計業務契約予定者の決定について

中央図書館長 中央図書館から、新中央図書館設計業務契約予定者についてご報告させていただきます。図書館では、新中央図書館の設計業務の発注にあたり、技術力、提案力等を審査し、最も適した設計者を選定するため、5月から公募型プロポーザル方式により、設計者の選定を進めて参りました。今般、審査において最優秀提案者となった者を、新中央図書館整備検討委員会にて、設計業務契約予定者として決定いたしましたのでご報告いたします。

資料の1番をご覧ください。審査会は、資料記載のとおり、5人の外部委員と2人の内部委員で構成されております。

続きまして、審査結果についてご説明いたします。プロポーザル審査委員会では、参加資格審査、1次審査、2次審査と3段階の審査を行いました。2番をご覧ください。まず1つ目として、プロポーザルへの参加資格審査を行いました。これは、プロポーザル実施要領に定める、参加資格及び参加条件を満たす者であるかどうかを審査するものです。主な参加資格と参加条件としまして、本市の建設工事等入札参加有資格者名簿に登録されていること、現在より概ね10年以内の実績として、市で計画する2分の1にあたる延べ床面積2,250㎡以上の図書館の新築に係る基本及び実施設計業務の実績を有していること、管理技術者、総合・構造・電気・機械担当主任技術者を配置することなどとしております。

審査の結果、参加申込のあった6者のうち5者について参加資格を満たすものと認めました。2ページ目をご覧ください。記載のとおり、令和6年7月14日に公募型プロポーザル評価基準に基づく評価を行い、優秀と認められる者を、第2次審査対象者として最大で5者選定する、1次審査を行いました。

第1次審査では、提案者の業務実績等、提案者の業務遂行能力、本業務の実施方針の3つの評価項目について評価を行いました。審査の結果、参加した5者全て、第2次審査対象者として選定されました。

次に、令和6年8月25日に第2次審査を行いました。評価項目としまし

では、資料記載のとおりとなります。審査は、各者のプレゼンテーションとヒアリングを実施したうえ、委員会で十分な議論を重ね、委員お一人おひとりの有する専門的知見に基づき、厳正かつ公正な審査を行い、記載の最優秀提案者及び次点者が選定されました。

最優秀者の提案は、図書館の開架フロア内にまちの魅力を発信するコーナーの設置や、設計チームに「まちづくり主任」を配置するなど、図書館とまちの連携についても意識した提案に期待が寄せられたこと、また、図書館中央部分に書架を配置し、その周りにそれぞれ違った特徴のエリアを複数配置したフロア構成の提案が、多くの世代にとって利用しやすい、バランスの良いフロア計画となっていることが評価されました。

提案内容につきましては、市民の皆様にお知らせするため、現段階でのイメージ図などを加え、より分かりやすい形にしたものを作成中であり、後日HP等で公表を予定しております。

3番をご覧ください。プロポーザル審査委員会後、ひたちなか市立新中央図書館整備検討委員会を開催しまして、プロポーザル審査委員会で最優秀提案者となった、株式会社山下設計を契約予定者として決定いたしました。

最後に、整備に関する今後のスケジュールにつきましては、記載のとおりとなります。このほか、市民の方への説明やご意見をいただく取組を、10月下旬以降に実施することを、市報やHP、SNSで発信予定です。

今後も、設計検討期間中は有識者をはじめ、様々な方からご意見を伺いながら進めて参ります。

新中央図書館設計業務契約予定者決定についての説明は以上となります。

【質疑、意見等】

教 育 長 新中央図書館の建設予定地は、周りの道路があまり広くなかったり、公園があり、木があるのでそれを大事にしましょうという観点など、色々な観点で見させていただいております。また、市政懇談会を行った際には、新しい図書館についての要望をおっしゃる方もいらっしゃいます。そういった声を拾うためにも、業者を交えたワークショップを今後何回か設ける予定としております。

佐 藤 委 員 道路が狭いとお話がありましたが、駐車場については、広く確保できるのでしょうか。

中央図書館長 駐車場の確保につきましては、敷地内に現在と同程度の台数を確保していきたいと考えております。また公園にも既存の駐車場が34台あり、道路を

挟んだ石川運動ひろばの駐車場もございます。

新しい図書館ができた場合でも、おいでになる方のご不便がないように、今後設計の中で検討して参りたいと考えております。

教 育 長 ふぁみりこらぼのさらに南側なので、駅から来る場合や、茨城高専や勝田中等教育学校の生徒の動線から考えると少し距離がありますが、それが気にならないような施設になるといいと考えております。

大塚委員 コミュニティバスの停留所についてなのですが、敷地内で乗り降りできるようにするのか、周辺の道に停留所を設けるのかを教えていただきたいです。

中央図書館長 コミュニティバスの停留所につきましては、整備地付近にはございませんが、公共施設になりますので、図書館の近くに停留所を設けていけるように、今後、企画調整課と調整して参りたいと考えております。

大塚委員 ありがとうございます。ぜひよろしく願いいたします。

教 育 長 日本では、これからはデジタル化というような話をしていますが、ヨーロッパのほうでは、やはり紙が良いと言われ始めている所もあるそうです。これは少し難しいところで、蓄積という点では、デジタルの方が良いと思いますが、子どもたちが使っているタブレットなどもそうですが、紙とデジタルをハイブリッドして、うまく使い分けていく時代なのかと思います。

鬼澤委員 新しく建てる図書館には、発信ができるような図書館といった発想はあるのですか。

教 育 長 今回の条件の1つに、シビックプライドを入れています。こういった条件を入れると、地域の自慢できるものをということで、書籍だけではなく、ワークショップを行うスペースなどが提案として挙がっています。またその他様々な用途に使えるスペースをといた事も考えております。

鬼澤委員 そういった場であってほしいですね。例えば観光で訪れた方が、近くに評判の良い図書館があるから寄ってみたいかといった事があると、より連携が深まっていくと思います。何か1つでも他の図書館と違った売りがあると良いと思います。

教 育 長 限られた予算の中でということになると思いますが、現在の物と同じにならないようにしていきたいと思います。極力ワンフロアにということも条件としています。

鬼 澤 委 員 商工会議所でも言ったことがあるのですが、ひたちなかには多く半導体の企業が進出しています。今は企業版ふるさと納税というものがあるので、地域の半導体の企業が図書館に対して、何らかの形で子どもたちの将来のために、半導体のことも含めて教育ができるのであれば、もっと提供してほしいといったことがあってもいいのではないかと考えています。

教 育 長 そういったことについては、ぜひ勉強させていただければと思います。

鬼 澤 委 員 うまく力を使って、なにかそういったことが行えると良いのではないかと考えています。

佐 藤 委 員 ひたちなかの展示スペースのような感じで、図書館に来ればひたちなかのことがわかるといった事も大事ですね。ひたちなか市はこういった市なんだということを発信できるチャンスだと思います。

鬼 澤 委 員 3Dで見ることができるなど、今は発信の方法もすごく進んでいます。お金の問題があると思いますが、あの図書館に行けばこんなものが見られるといったものも良いと思います。

教 育 長 図書館でそういった発信の仕方のモデルを作ることができると、それは学校にも波及していくと思います。発信をさせるとなると、子どもたちも非常に頭を使うと思います。受け身だどうしても限定的になってしまいます。

岡 本 委 員 ひたちなか市の施設で、ネーミングライツをしているところはあるのでしょうか。

教 育 長 図書館についてはまだそこまでは考えてはいないです。

鬼 澤 委 員 水戸市では結構行われていますね。

教 育 長 歩道橋にも書かれていたりしますね。

今後も市民からだけではなくて、委員の皆様からもご意見を頂戴する機会があるかと思しますので、その時はぜひよろしくお願いいたします。

教 育 長 (閉会の宣言)

閉会 11:10